



# 道徳教育だよ!



足利市立矢場川小学校  
平成30年7月5日  
平成30年度第5号

6月26日(火)に行われた道徳の研究会について、前回、6年1組の授業についてお知らせしましたが、今回は、「思いやり、親切」について考えた1年1組の授業と「集団における自分の役割」について考えた5年1組の授業についてお知らせします。

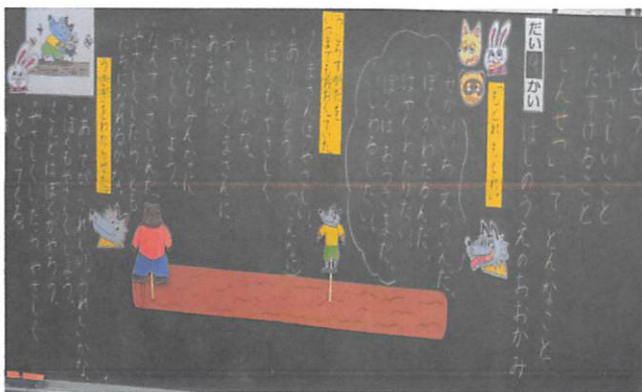
## 1年の授業「はしのうえのおおかみ」

やか己行。れを手親切よう  
い分自るすさど相親ちよ  
思はやくでにな、で持る  
、さみでの切技い心気き  
は切込出も親演合いやで  
も大いらいに割しさが  
どの思か多ま役話温切と  
子の為、方がくをら、大こ  
の行がえとがちがえのる  
期のす考こみ持な考と取  
の親切なるか気れをこじ  
の親切的なるか気れをこじ  
りやて心におおかみの入とる感  
りっ中為。た取りのこすを学



### ☆教材の内容について

主人公のおおかみは、橋の上で、自分より小さいうさぎたちを相手に、面白がって意地悪をする。そんな時、くまに出会い、今度は自分が意地悪をされるのではないかと思う。しかし、おおかみはくまに親切にされて橋を渡らせてもらう。くまに親切にされたことで、自分の行為を振り返り、優しい心でうさぎたちに親切にするという内容です。



おおかみがくまに1本橋を渡らせてもらったあと、くまの後ろ姿を見送りながらどんなことを考えていたかを話合いました。話合いでは、次のような意見が出ました。

- ・くまさん、ありがとう。
- ・くまさんは優しいな。
- ・くまさんは怖そうに思ったけど、優しくかったな。
- ・くまさんは優しくかったから、ぼくも優しくしよう。
- ・ぼくもみんなに優しくしよう。

\* 親切にされたことにより、自分も親切にしようとおおかみの気持ちが変わったことに気付くことができました。

子どもたちが授業の始まりの時に考えていた『親切』は、「優しいこと」「助けること」でした。教材の話合いをした後に、もう1度「親切ってどういうこと」と聞くと、「うれしくすること」「助け合うこと」「人の気持ちを温かくすること」「人の気持ちを分かってあげること」といった意見が出されました。教材を通して考えたり、友達の意見を聞いたりすることで、『親切』についての考えが深まりました。